

## 参考文献

### 1. 日本語文献（五十音順）

#### 単行本

##### あ

- 赤沢史朗、北河賢三『文化とファシズム』日本経済評論社、1993年。
- 浅岡信夫『映画国策の提唱』政友会、1931年。
- 市川彩『アジア映画の創造及建設』国際映画通信社、大陸文化協会、1941年。
- 今村太平『戦争と映画』ゆまに書房、1991年。
- 岩本憲児編『映画と「大東亜共栄圏」』森話社、2004年。
- 岩本憲児編『日本映画とナショナリズム』森話社、2004年。
- 岩本憲児『幻燈の世紀』森話社、2002年。
- 岩本憲児、牧野守監修『昭和十七年映画年鑑』（復刻版）日本図書センター、1994年（原本：日本映画雑誌協会、1942年）。
- 岩本憲児、牧野守監修『昭和十八年映画年鑑』（復刻版）日本図書センター、1994年（原本：日本映画雑誌協会、1943年）。
- 内海愛子・村井吉敬著『シネアスト許泳の“昭和”』凱風社、1987年。
- NHK“ドキュメント昭和”取材班『ドキュメント昭和4—トーキーは世界をめざす・国策としての映画』角川書店、1986年。

##### か

- 『活動写真「フィルム」検閲年報第2巻』（復刻版）龍溪書舎、1984年（原本：内務省警保局編、1934年）。
- 『活動写真フィルム検閲概要』朝鮮総督府、1931年。
- 加藤厚子『総動員体制と映画』新曜社、2003年。
- 金子堅太郎『伊藤博文傳下巻』統正社、1940年。
- 角家文雄『昭和時代—15年戦争の資料集—』学陽書房、1973年。
- 姜在彦『朝鮮近代史』平凡社、1986年。
- 姜在彦『日本による朝鮮支配の40年』朝日新聞社、1992年。
- 木坂順一郎『昭和の歴史の太平洋戦争』小学館、1989年。
- 『キネマ旬報別冊-日本映画作品総目録第1集』キネマ旬報社、1960年。
- キーン、ドナルド『MEIJI TENNO』タカフォン社、キムドン訳、2002年。
- 久米正雄『伊藤博文伝第15巻』改造社、1931年。
- 『現代史資料40、マス・メディア統制1』みすず書房、1973年。
- 国学刊行会『日帝下支配政策資料集第2巻』（復刻版）高麗書林、1999年。

『国際映画年鑑昭和九年』国際映画年鑑社、1934年。

胡昶、古泉『満映—国策映画の諸相』横地剛、間ふさ子訳、パンドラ、1999年。

小松緑『伊藤公全集第3巻』伊藤公全集刊行会、1927年。

近藤釵一編『太平洋戦争下の朝鮮及び台湾』朝鮮資料研究会近藤研究室、1961年。

## さ

櫻本富雄『大東亜戦争と日本映画—立見の戦中映画論』青木書店、1993年。

佐藤忠男『日本映画史 第2巻』岩波書店、1995年。

『戦争と日本映画・講座日本映画4』岩波書店、1986年。

『増補朝鮮総督府三十年史』株式会社クレス出版、1999年。

## た

高島金次『朝鮮映画統制史』朝鮮映画文化研究所、1943年。復刻版として『日本映画論言説大系 第I期 戦時下の映画統制期』全10巻構成のうち、第9巻『朝鮮映画統制史』ゆまに書房、牧野守監修、2003年。

田中純一郎『日本教育映画発達史』蝸牛社、1979年。

田中純一郎『日本映画発達史Ⅲ』中公文庫、1980年。

田村志津枝『はじめに映画があった』中央公論新社、2000年。

朝鮮総督府官房文書課編『朝鮮総督府キネマ』、1938年。

朝鮮総督府『施政二十五年史』、1935年。

朝鮮総督府『施政三十年史』、1940年。

## な

内務省警務局『映画検閲時報』（復刻版）不二出版、1985年。

内務省警保局『映画国策の概況』、1933年。

日本映画史研究会編『日本映画作品辞典・戦前編』科学書院、1996年。

『日本映画年鑑—大正十三・四年』東京朝日新聞社アサヒグラフ編集部編纂、1925年（フィルムセンター所蔵）。

『日本映画年鑑昭和四年・五年版』東京朝日新聞社、1930年、（フィルムセンター所蔵）。

『日本映画年鑑大正十五年版』国際映画通信社、1926年、（フィルムセンター所蔵）。

## は

ハイ、ピーター・B『帝国の銀幕—十五年戦争と日本映画—』名古屋大学出版会、1995年。

朴慶植『朝鮮人強制連行の記録』未来社、1965年。

朴慶植『日本帝国主義の朝鮮支配 下巻』青木書店、1990年。

原武史『可視化された帝国—近代日本の行幸啓』みすず書房、2001年。

ピーティアー、マーク、浅野豊美訳『植民地—帝国50年の興亡』読売新聞社、1996年。  
平塚篤『伊藤博文演説集』春秋社、1930年。  
藤原彰『昭和の歴史⑤日中全面戦争』小学館、1998年。  
古川隆久『戦時下の日本映画—人々は国策映画を観たか—』吉川弘文館、2003年。  
不破祐俊『映画法解説』大日本映画協会、1941年。

ま

牧野守監修『朝鮮映画統制史』（復刻版）ゆまに書房、2003年。（原本：『朝鮮映画統制史』  
高島金次、朝鮮映画文化研究所、1943年）  
牧野守『日本映画検閲史』パンドラ、2003年。

や

柳井義男『活動写真の保護と取締』有斐閣、1929年。  
山根幹人『社会教化と活動写真』帝國地方行政学会、同朝鮮本部、1923年。  
山本喜久男他『世界の映画作家31—日本映画史』キネマ旬報社、1976年。  
由井正臣『日本の歴史8—大日本帝国の時代』岩波書店、2000年。

ら

李王垠伝記刊行会（代表、有末精三）『英親王李垠伝』図書出版共栄書房、1978年。

## 雑誌

『映画往来』キネマ旬報社。  
『映画観照』映画観照社。  
『映画教育』大阪毎日新聞社。  
『活動倶楽部』活動倶楽部社。  
『映画研究』日本映画社。  
『活動写真界』日本活動社。  
『映画旬報』映画出版社。  
『活動之世界』活動之世界社。  
『映画の友』映画評論社。  
『映画評論』映画評論社。  
『キネマ旬報』キネマ旬報社。  
『警察研究』良書普及会。  
『国際映画新聞』国際映画新聞社（1927年7月20日～1930年2月10日）。  
『国際映画新聞』国際映画通信社（1930年3月10日～1940年11月20日）。  
『新映画』日本映画出版社。

『朝鮮』朝鮮総督府。  
『朝鮮彙報』朝鮮総督府。  
『朝鮮事情』朝鮮銀行調査部。  
『日本映画』大日本映画協会。  
『文化映画』映画日本社。

## 其他

カタログ『活動写真器械・フィルム定価表』吉澤商店、明治39年4月改正版、1906年。  
カタログ『展覧会映画遺産－東京国立近代美術館フィルムセンターコレクションより』独立行政法人国立美術館/東京近代美術館、2004年。  
韓国学文献研究所『朝鮮総督府官報』亜細亜文化社、1990年。  
『朝日新聞』。  
『朝鮮総督府キネマ』朝鮮総督官房文書課、1938年。  
『毎日申報』。

## 2. 韓国語文献（子母音順）

### 単行本

姜東鎮『日帝の韓国侵略政策史』ハンギルサ、1980年。  
金鐘元/鄭重憲『映画100』玄岩社、2001年。  
金鍾旭『実録韓国映画叢書第1集（1903～1945.8）上・下』国学資料院、2002年。  
宮田節子『朝鮮民衆「皇民化」政策』李熒娘<sup>リ・ヒョナン</sup>訳、一潮閣、1985年。  
安鐘和『韓国映画側面秘史』現代美学社、1998年。  
俞賢穆『韓国映画発達史』韓振出版社、1986年。  
李重巨外著『韓国映画の理解』イエニ出版、1992年。  
李英一『韓国映画全史』サムエサ、1969年。  
李孝仁『韓国映画歴史講義1』理論と実践、1992年。  
鄭宗和『資料 韓国映画史1』悦話堂、1997年。

### 其他

『慶南日報』  
『大韓毎日申報』  
『大韓民報』  
『東亜日報』  
『文章』文章社  
『三千里』

『朝鮮日報』

『皇城新聞』

国立中央図書館 (<http://www.nl.or.kr>)